

隅田川流域河川整備計画（変更原案）への意見募集において提出されたご意見等について

（環境に関すること）

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
1	日本庭園のことを学び参考にしてみてもいいでしょうか。	隅田川では、周辺環境や地域の特色に合わせたテラス修景工事を進めております。 いただいたご意見は、今後の河川整備検討の際の参考にさせていただきます。
2	平成 28 年度に策定された隅田川流域河川整備計画では小台橋から尾竹橋間の左岸にタイプⅠの護岸が整備されたと記載されている。しかし、令和 3 年 8 月 22 日と 12 月 12 日に現状を確認したところ、タイプⅠの護岸はあるものの、植生が大変少なく、コンクリート部分が多くを占めていた。これは、タイプⅠの護岸の「生き物の生息場が主体となる」という目的と乖離がある。早急に整備を進め、改善する必要があると考える。	小台橋から尾竹橋間の左岸では、スーパー堤防整備を行った一部区間を除き、現状、堤防の耐震性能確保を目的としたテラス整備（基礎部分）は完了していますが、テラス表面の修景整備はまだ完了しておりません。 今後、いただいたご意見を参考にさせていただき、生き物の生息や人の利用に配慮したテラスの整備に努めてまいります。
3	提言「コンクリート護岸に環境保全型ブロックの配置」 隅田川では川岸近くにまで住宅や建造物があり、川幅を拡幅することは難しい。このことから流速を低下させ、護岸前面に自然河岸が形成されることは現実的ではなく、環境保全型ブロックを設置することが望ましいと考える。この際、護岸部に植生を配置し、生物の生息・生育場所や植生基盤となりうる空隙を持つことが望まれる。また、適した湿潤状態を保つため、透水性・保水性を保持する必要がある。この際、生物が水中か	現在、隅田川では、耐震対策を目的とした鋼管杭構造のテラスが河川水際に整備されているため、この鋼管杭構造に環境保全型ブロックを設置することは難しい状況となっています。 なお、駒形橋下流などにおいて、テラス空間を利用して、生物の生息できる環境を整備するなど、動植物に配慮した河川整備に取り組んでいます。 引き続き、水質改善や動植物に配慮した河川環境の整備に努めてまいります。いただいたご意見

(河川利用に関すること)

整理番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
1	隅田川流域には多くのマンションが建ち、最近はペット可の物件も増え犬を飼っている方も多いようです。ぜひ墨田川流域にドッグランを作ってください。 豊島橋から新堀橋までの間など活用できませんか。	現在、隅田川には、隅田川テラスを中央区が河川敷地占用して設置している浜町公園わんわん広場というドッグランがあります。 いただいたご意見や地域の皆様のニーズを踏まえ、区と連携し河川空間の利用促進に努めてまいります。
2	隅田川添いにある消防署第六方面基地の横に空き地があります。あそこをドッグランとして活用することはできないでしょうか。 あの近くには犬を飼育している人が多いので、喜ばれると思います。	現在、隅田川には、隅田川テラスを中央区が河川敷地占用して設置している浜町公園わんわん広場というドッグランがあります。 いただいたご意見や地域の皆様のニーズを踏まえ、区と連携し河川空間の利用促進に努めてまいります。
3	テラスはとても気分の良いところなので、水遊び場などはいかがでしょう。中央区のあたりは、非常に環境が良いところだと思います。	隅田川は、潮位によりテラスと水面の高低差が大きくなる場合があるため、テラスに転落防止柵を設置しています。柵があり気軽に水に触れることが難しい環境となっておりますが、安全のためご理解をよろしくお願いいたします。 いただいたご意見につきましては、今後の河川整備の参考にさせていただきます。
4	昨年（2021年）の私たちの実践体験を基に意見を述べます。場所は「江戸時代の隅田川」と認められた千住大橋と白髭橋中間の現「瑞光橋公園ワンド」です。水面から見る隅田川の水景観を実感しつつ、スカイツリーを眺めたい、また、水に直接触れてみたい、そんな願いを実行するために、私達はクラウドファンディングで資金を集め、自作で木造ボート2台を製作しま	隅田川でのイベント開催など、川に親しみを持ち活動いただきましてありがとうございます。 隅田川では、人々が集い、にぎわいが生まれる水辺空間の創出に向け、水辺へのアクセス改善や、夜間照明の設置などを進めています。

した。2021.10.3（日）に、30 名に乗船して貰いました。10 才の子供から 80 台の高齢者まで、大好評でした。見学者を含めると、優に 100 名超の賑わいでした。 当初、隅田川本流を計画しましたが、安全性の面で、区担当部内から、当ワンド使用の指示が出たのです、幸い、無事故でしたが、当ワンド岩壁から水面のボートまで 1500m 以上あり、乗降ステップも木造手作り（自作）だったため、「改善の指示」があり、目下、改善型に着手中です。 乗船者の 90%以上が、「初めての体験、是非また次の機会は友人と」との答えでした。私達は「川はともだち」という団体を結成していますが、「隅田川の水に触れ、水の浮揚感を実感し、水面から景観を味わう」ことで、“ともだち”になれ、“水をきれいに残す次の行動がとれる”と考えているのです。 提案 1 ⇒「瑞光橋公園ワンド」は隅田川と一体です。当ワンドも、当整備計画に含めて実行してください。 提案 2 ⇒「親しみのある水の都の再生」を考えると、当ワンドは底にヘドロが溜まり、大ゴミが捨てられ、干潮時は全く情けない状況で、「親しみは湧きません」。都と区の共感のようですが、どちらの責任を押し付けるのではなく、両者一体となった方策を進めていただきたい。 具体策としては、①ワンドの底（ヘドロ）を開堀して、きれいにし、②ボート乗降所、置き場を設置し、③このボートでゴミ清掃拾い出しを行い、④月 2 回（土日）はレジャー用ボートを運行し楽しんでもらう。⑤この日は、周辺にホリデイショップを開き、集客を集める。これで、賑わいのある水辺が間違いなく誕生します。③～⑤は「川はともだち」のような民間団体で動ける。 提案 3 ⇒また、⑥将来もワンドにヘドロ（底砂）の流入を防ぐ“防壁”川底に建てる、⑦現、	また、定期的に水底土砂の堆積状況を確認し、治水安全上支障となる区間から優先的に浚渫を実施しています。 今後も、いただいたご意見や地域の皆様のニーズを踏まえ、区と連携し河川の整備を進めてまいります。
--	--

汐入水門まで、隅田川の水をポンプで揚水し、干潮時はこの水でワンドから隅田川に水を流す、⑧出来れば隅田川の波を少しでもワンドで消す装置を設置する、等を工夫する。 提案４⇒隅田川とその水辺は実に貴重な財産空間で、その活用こそ、まさに「水の東京の真骨頂」になる。“スーパー堤防”“テラスの充実”の先に位置する「水辺を利用したイベント」を見据えて、「利用に関する仕組みづくり」と「実施に向けた誘導」を是非今回の「隅田川流域河川整備計画」に充分に加えて頂き初年度から、都民の行動に弾みをつけて頂きたいと希望します。	
--	--

2021.10.3 (日) 端光橋公園ワンド(進水す)



10月3日の写真/ボート進水会の準備



(会場での展示)

(右) 昔の川 ^{の活用} (左) 現在の活動状況



(新鮮な体験あり)

いよいよ、進水開始



(水エからの坂群の景観)

隅田川とスカイツリー。仕切りブイから
右側がワンド

2021.2.28(日) 荒川エッセイ 講話会



ボートの作り方の説明資料



完成途中のボートを見せる



1 台は実際に組み立ててみる



2 月 28 日の講座の最終での集合写真

(維持管理に関すること)

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
1	隅田川堤防概成が昭和 50 年、鉄筋コンクリート効用持続年数は 120~150 年とされています。現在は補強でよいとなっていますが、外見からもひび割れのひどいところは見受けられます。いまの堤防では実際の高潮の時にはそのようなところから崩壊するのではと心配します。また、コンクリート診断で大丈夫となっているのでしょうか?補修・補強では無理なのではと考えます。 将来への負の遺産とならないよう抜本的に計画を見直してもらいたいです。	隅田川では、定期的に点検を行い、維持補修が必要な老朽化に対して補修を実施しています。 引き続き、適切な維持管理を行い堤防の機能を保持してまいります。